

厳選した材料を使った漆喰の良さを 知ってもらい、次の世代に伝えていく

株式会社木本工業所 代表取締役
木本 己樹彦

1. (株)木本工業所について

(株)木本工業所は1930年の創業以来、確かな技術を学び、そして伝統ある左官工法の良さを継承し、また新たな左官工法への取り組みを積極的に行っている『職人集団』である。

創業から左官技術・材料にこだわりを持ち、時代に合わせた施工を行っている。90年の歴史の中で日本固有の神社仏閣だけでなく、商業施設やインテリア等を多岐にわたって手掛けてきた。そうしたことにも驕らず、日頃から己の技術を磨くための努力を惜しまず、日々精進している。

近年は左官工事が必要となる「壁」が減っている一方、「漆喰」など自然素材を活かしたエコで、左官職人が表現する深い味わいを持った左官仕上げの壁・インテリアが再注目されてきている。左官職人が仕上げる塗り壁やインテリアは健康・安らぎ・安全を提供している。

(株)木本工業所では、この左官の技術・魅力・材料を日本だけにとどめず、『日本の左官職人にしかできない伝統技術』をより多くの人に知ってもらいたいと思い、2017年にはOW KIMOTOとしてアメリカに現地法人を設けた。毎年最低1回は海外の展示会等に参加し、少しでも多くの方に知ってもらえたらと思地道に活動をしている。コロナ禍で思い描いていたような活動ができていないものの、今後も続けていきたい事業の1つである。

2. 鎌倉漆喰

鎌倉[®]漆喰は左官業から始まり、創業して90年以上漆喰の扱いを熟知している木本工業所とメーカーが素材における産地はもちろん、徹底的に追求し厳選した材料を使い、こだわりぬいたオリジナル漆喰である。鎌倉[®]漆喰が他製品と違うところは、【珪藻土+漆喰】のハイブリットであるということ。そのため、鎌倉[®]漆喰には両方の良い性能を兼ね

備えた製品となっている。

- ①防火…消石灰は耐火性、難燃性の特性があり、万が一火事になっても有毒ガスが発生しない。
- ②調湿…消石灰は空気中の二酸化炭素と水を吸収するため、湿度の高いときは湿気を吸い込み、結露を防ぎ、空間の湿度を適度に調節してくれる。さらには調湿効果により、カビやダニが発生しにくい環境にする。漆喰が塗られた部屋で過ごす、その快適さに気づかれるはず。
- ③消臭…アルカリ性の消石灰はたんぱく質を分解し、ペット臭、台所臭、生活臭、トイレ臭、タバコ臭、カビ臭などを消臭する。
- ④清潔…漆喰は静電気が起こらず、埃や花粉、汚れがつきにくい。
- ⑤抗菌・防カビ…漆喰は強アルカリ性のため有機物を分解する殺菌機能がある。そのためカビ菌や細菌の繁殖を抑える。さらに湿気は細菌とカビの原因であるため、漆喰の調湿効果により細菌とカビを防ぐことができる。日本で特に注意が必要な原因菌(大腸菌・黄色ブドウ球菌)に対して効果を発揮する。他社には真似できない独自の配合で高い効果の抗菌性能を生み出している。(黄色ブドウ球菌 ≥ 5.1 、大腸菌 ≥ 6.3 一般財団法人日本繊維製品品質技術センター JIS Z 2801抗菌性試験 抗菌活性値2.0以上で抗菌効果が確認される ※黄色ブドウ球菌MAX5.1 大腸菌MAX6.3)
- ⑥環境・生態系に優しい(SDGs)…自然素材のみで作られた漆喰は、焼却処分をしても有害な物質を出さない。さらに、これを再度燃焼すれば新たな石灰原料としてもリサイクル活用できるので、最近ではリサイクル建材としても注目を浴びている。
- ⑦ホルムアルデヒド吸着分解…近年問題となっているシックハウスの原因の化学物質ホルムアルデヒドを吸収して分解する。シックハウス症候群とは、新居などに入居し



▲傾斜地に立つレストランの外壁を施工



▲海辺に立つ家の外壁を施工



▲外壁全面に漆喰を使用

た際に乾燥、涙、鼻水、湿疹、めまい、嘔吐、頭痛などの症状が現れる症状を言い、特に長時間ホルムアルデヒドを吸うと、癌を発症してしまう可能性もある。漆喰はホルムアルデヒドに対して強い吸収性があり、短期間で室内のホルムアルデヒドを分解することが出来る。

3. 自然素材で外壁施工

漆喰は塩害に強いため、塩分濃度の高い地中海沿岸地域の建築物には外壁材として利用されている。耐火性能も非常に高く、また年月をかけて二酸化炭素を吸着することで、漆喰自体が固くなるので、日本では古くからお城や蔵といった、“貴重なものを守る建造物”の外壁に使用されてきた。

弊社では、潮風の影響を大きく受ける湘南地域でも、そうした特徴を持つオリジナル漆喰兼倉®漆喰を外装材として用いることで、塩害対策や遮熱などの効果も得られると考え、施工を行っている。

また、少しでも多くの物件に外装材として使用することが二酸化炭素吸収などの観点からみて、微力ではあるものの持続可能な環境の実現にも繋がると考えている。

4. 新しい時代を育てていくために

（株）本工業所では、キャリア教育に力を入れている小学校・中学校・高等学校にて『職業講話』を行っている。

仕事の楽しさや厳しさ、「左官の仕事」とはどういうものか等、働くことの意義や「仕事」について学生の皆さんにお話と漆喰塗りなどの体験を通じて、お伝えする機会を設けていただいている。

これからも地域のみなさまと交流をさせていただく中で、左官や漆喰、職人の技能等を多くの方へ伝えることができると考えている。

また、藤沢市の技能団体にも加盟しており、技能の練磨と後継者の育成に努め、異業種間の親睦と交流、そして地域との交流も取り入れながら、藤沢市の技能振興を図るために活動をしている。小・中・高校生が自分たちの暮らす町の職人の技・世界・仕事を身近に感じてもらうことを目的として、優れた技能を持つ職人が学校を訪問し、技能の披露や体験教室等を行う「学校訪問事業」にも率先して参加している。これからの次代を担う若者の道しるべのひとつになればと思い、今後も活動を続けていきたい。